

放射線診療を受けられる患者様へ

安全管理のため検査にともなう被ばくについての説明を行っています

山陽病院では、病気の発見や治療のため必要と判断された場合に放射線(X線)を用いた検査を行っています。使用する放射線の量は、身体に影響が出ると言われて

いる量よりも少なく、最新の診断参考レベルと比較し、最適な撮影条件で検査を行っています。放射線による影響は心配ありませんので、安心して検査をお受けください。



ふれあい

「グループ理念」ともに歩む、ともに生きる



125
2021.4発行
TAKE FREE

辰川会 広報誌

おひさま保育園 卒園式、入園式・進級式



3月27日に卒園式を行いました。大きくなったら消防士やプリキュアになりたいなど可愛い夢の発表や、「ママありがとう♡」と手作りの首飾りをかける場面もあり、とても素敵な式になりました。それぞれの夢や希望に向かって大きく羽ばたいてほしいと願います。

また、4月1日には入園・進級式を行い、新たな一歩を踏み出したところです。毎日元気に楽しく園に通ってもらえるよう、職員一同、誠心誠意子どもたちと向き合っていきたいと思ひます。(園長 藤井泉美)

..... もの忘れなんでも相談会

福山市地域包括支援センター野上では、認知症に関する無料相談会を開催しています。

物忘れ、認知症について不安なこと、お困りのことがある方は何でもお気軽にご相談ください。認知症介護指導者、認知症地域支援推進員、社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師などの専門職が相談に乗ります。

日時：毎月第4土曜日 13時～17時
場所：福山市地域包括支援センター野上
※オンライン相談も可
連絡先：084-921-0210 (予約制)



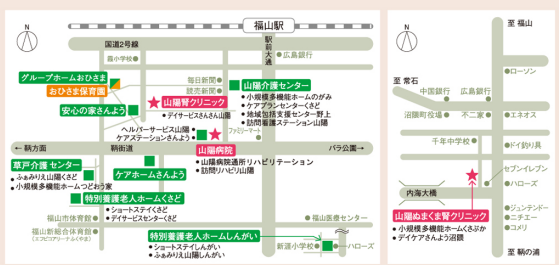
辰川会グループのホームページをリニューアルしました！



<https://www.sanyo.or.jp/>

山陽病院では、よりよい病院をつくるため、外来患者様を対象としたアンケート調査を行いました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。結果は後日、院内掲示にてご報告いたします。アンケート実施期間：2021年2月15日(月)～2月27日(土) 配布：733枚 回収：670枚 回収率：91.4%

【医療法人辰川会】
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel.(084) 923-1133(代) Fax.(084) 923-1158
山陽腎クリニック 人工透析外科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel.(084) 928-5500(代) Fax.(084) 928-5535
山陽めまぐま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科
〒720-0311 福山市徳富町東2031-1 Tel.(084) 980-0034(代) Fax.(084) 987-3450
[社会福祉法人さんよう]
特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市野上町1丁目28番24号 Tel.(084) 973-9911(代) Fax.(084) 928-9988
特別養護老人ホームしんがい
〒721-0955 福山市野上町3丁目19番27号 Tel.(084) 961-3955(代) Fax.(084) 9261-3950



辰川会グループ最高責任者(CEO)就任のごあいさつ

この度、会長を務めていました辰川自光の退任に伴い、2021年4月1日から辰川会グループの責任者となりました。創業以来43年間、透析医療からスタートし、地域医療、そして地域包括ケアの推進をしてきた前会長の想いをしっかりと引き継ぎ、地域の皆さまに必要なとされる辰川会グループとして職員一丸となり邁進してまいります。

今回のコロナ禍で、デジタル化への移行など柔軟な対応が求められていますが、時代にあわせて常に変化し続けることが企業にとっても、個人にとっても重要なことだと感じています。地域に密着し、皆さまの健康的な生活を守るため、自分自身を含め、職員一人ひとりが常に新しい知識や技術をINPUTし、それを仕事やプライベートでもOUTPUTし続けることを意識していきたいと思ひます。

新しいグループ理念である「ともに歩む、ともに生きる」を常に念頭に置き、誠心誠意努力してゆく所存です。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

辰川会グループ理念 ともに歩む、ともに生きる

患者様・利用者様・ご家族様・職員・地域の皆様、かかわる全ての人たちと手を取り合い、つらいときもうれしいときも、ともに支えあい、いきいきと安心して暮らせる地域を作っていきます



辰川会グループ最高責任者
たつかわ まさし
辰川 匡史

山陽めまぐま腎クリニック院長就任のごあいさつ



山陽めまぐま腎クリニック 院長
はまぐち なおき
濱口 直樹

令和3年4月1日より医療法人辰川会山陽めまぐま腎クリニックの管理者(院長)という大役を拝命し、その重責に身の引き締まる思いであります。辰川匡史理事長より管理者就任を打診された際、辰川自光前会長には公私ともに一方ならぬお世話になっていたため、少しでも辰川会のお役に立てればと想ひ快諾させていただきました。

長年透析医療に携わり、透析クリニックの立ち位置は「斯くあるべし」と私なりに多少は理解しているつもりです。では当クリニックは？と自問自答すれば、基幹病院である山陽病院とは離れた僻地にあり、重複合併症を有する高齢者も沢山おられます。より迅速な合併症対策が望まれます。幸いにも、石原主任を始め優秀なスタッフが揃い、スピーディーな対応ができています。

透析医療は、多職種が関わる代表的なチーム医療の一つと言えます。同時に様々な合併症を有するため連携医療も不可欠です。山陽病院の援助を受けながら、チーム一丸となって沼隈地域のより良い透析医療を目指し、努力する所存です。

ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新任医師紹介

毎週火～金曜日



ひらの ひろし
平野 宏

出身は新潟市。新潟大学医学部卒業、川崎医科大学に腎臓内科医として赴任し倉敷暮らしがはじまりました。25年の大学勤務の後に大好きな沖繩に移り住み、名護市の病院で地域医療にも取り組みました。「病気を診る」「患者さんを診る」医者から「病気をもつ人間を診る」医者を実践したいと思います。 ブログをしています【自分スタイルのセカンドライフ】

毎週月曜日



たにり かずの
田尻 和也

毎週金曜日



もりもと けいすけ
森本 啓介

辰川会グループ 2021年度 入職式

4月1日、入職式を行いました。はじめに山陽病院水谷院長が「新型コロナの影響で十分な実習ができないまま入職となり、不安な方が多いと思いますが、安心してください。先輩方が中身の濃い研修をしっかりと準備しています」と歓迎の言葉を述べました。

今回は感染対策のため、出席人数を制限して行いましたが、先輩職員から「コミュニケーションの基本となる、聞く力を養うことが大切です。私たち先輩スタッフも、聞く力を持って、皆さんの声に耳を傾けていきますので、一緒に学んでいきましょう」と声を掛けると、緊張感のある新入職員の表情が、少しやわらっていました。一緒にがんばっていきましょう！

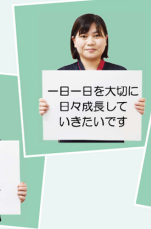


新規学卒者8人、中途採用職員8人、内科医師1人

理学療法士 福田さん



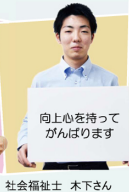
臨床工学技士 久本さん



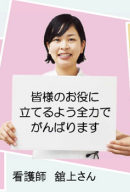
臨床工学技士 北野さん



臨床工学技士 平松さん



社会福祉士 木下さん



看護師 館上さん



看護師 佐藤さん



看護師 川崎さん

フレイルチェック会開催

コミュニティーズ 折見佳子

「フレイル」とは、年齢を重ね心身の活力が低下した虚弱状態を言い、フレイルが進むと回復力や免疫力が低下します。福山市では、フレイル予防に力を入れるため、広



辰川会から社会福祉法人さんよう理事長 辰川和美(左上)と折見佳子(左下)がフレイルサポーターとして参加しています。開催日時等は福山市の広報をご確認ください。

島県でいち早くフレイルサポーターを育成し、2020年よりフレイルチェック会を開催しています。自分のこころや身体の状態がどのような状況におかれているのか、質問用紙への回答や、手足の筋肉量などの測定を行い、原則半年ごと、2年間継続して参加することでフレイル状態の変化を楽しみながら確認することができます。

フレイル予防には栄養・運動・社会参加という3つの柱がとて重要とされています。フレイルチェック会に参加することは、家族以外の人と関わりを持ち、社会とのつながりを持つ場でもあります。

地域の皆様に一人でも多く、参加いただき、元気に自立した日常生活を送っていただけるように、フレイルサポーターとしてお手伝いしたいと思います。

院内研修用 BLS(一次救命処置)シミュレーター

山陽病院 看護部長 藤井美江

4月になり今年度の新人研修が始まりました。新人看護師の研修は、「新人看護職員研修ガイドライン」に沿って実施しています。集合研修と部署でのOJT(職場内訓練)を組み合わせ、新人が成長できるように支援しています。

研修に合わせこの度、広島県新人看護職員研修費補助金制度を利用し、BLSシミュレーター1体を購入しました。正しい心臓マッサージと換気法のトレーニングを手軽に行えるマネキンです。iPadのアプリに接続すると、胸骨圧迫で大切な「位置・深さ・リズム・胸の戻り」を目に見える形で評価することができます。

今後はこれを積極的に活用し、ICLS(蘇生トレーニング)受講者が講師となり、BLS研修を新人だけ

でなく全職員を対象に開催し、一次救命措置のスキルを身に付けていきたいと思ひます。

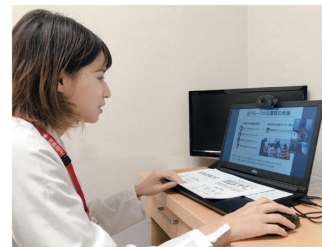
“いつでも、どこでも、だれでも”直ちにBLSを実施できる環境を作っていきます。



心理職オンライン実習

山陽病院 心理科 公認心理師 佐野ひかり

新型コロナウイルス感染対策のため、学生が医療機関で実習を受けられない状況が続いています。このことを受け、山陽病院では2020年より心理学部の大学生・大学院生を対象にオンライン実習を開始しました。



当グループで働く心理職の役割について説明し、認知症・アルコール依存症・透析の患者様等へのアプローチの仕方や心

理検査の方法等が学べるプログラムです。

座学のみでなく、学びをさらに深めるためのワークやロールプレイも実施しています。さらに、実習生の学習意欲やプレゼンテーション能力を高めることを目的として、事前学習した内容を5分程度のスライドにまとめて発表してもらっています。

オンライン実習という新しい試みであり、お互いに最初は緊張していましたが、徐々に和気あいあいとした雰囲気楽しく行えました。学生が学べる機会を増やしていくために、今後もオンライン実習に力を入れていきたいと思ひます。

【実習生受入状況 2月～4月】

広島大学大学院 2月1日～3月31日 心理士 6名

山陽腎クリニック ISO外部審査を受けて

山陽腎クリニック 主任 臨床工学技士 矢野真悟

山陽腎クリニックでは、患者様に提供する医療の質の向上を図るため、ISO9001の更新を続けています。

今年は、3月9日、10日の2日間にわたり、2名の審査員が来られ、3年に1回の更新審査を受けました。

審査では、透析室、放射線科、薬剤科、医事課で業務マニュアルや日常業務についての確認が行われました。透析室では、ここ数年力を入れてきた、エコー下穿刺の推進活動や、透析治療の改善活動について高い評価をいただき、自信になりました。今回は新型コロナウイルスのこともあり、感染対策の取り組みについて重点的に確認が行われました。具体的にどのような感染対策を行っている

か、現場スタッフへのインタビューもあり、日々の取り組みについて説明を行いました。

山陽腎クリニックでは、今後も感染対策はもちろんのこと、透析施設として品質を高く保ち続け、患者様に安心していただける透析治療を提供していきたいです。

